

# Cente Technical Information

発行番号	001-0021	Rev	第1版	発行日	2009/08/26
題名	ワーク用バッファ(メモリプール)の過剰返却部について				
情報分類	技術情報				
適用製品	Cente FileSystem Ver5.50～Cente FileSystem Ver5.63				
関連資料	なし				

## 【詳細】

連続未使用クラスタ検索(FAT32)機能を有効にした状態でのマウント処理において、  
獲得したワーク用バッファの返却を二重に行なっている箇所があり、その結果OSの誤動作を招く。  
OSの可変長メモリプールを使用した環境上で、連続未使用クラスタ検索(FAT32)機能を有効にした場合に発生する。

## 【回避方法】

### ■運用での回避方法

連続未使用クラスタ検索(FAT32)機能を無効にする。

```
(fs_cfg.h #define FS_FREE_CLUST 0)
```

### ■プログラム修正による回避方法

fs\_init.c の以下の関数に修正が必要です。

- ・ct\_ini\_disk\_sect()
- ・ct\_mount\_disk()

#### 【 <fs\_init.c> ct\_ini\_disk\_sect() 】

221行目

《 削除 》

```
if(fs_free_work(work_buf) != CT_OK)  
    return fs_er(CT_RELMEMORY, NULL);
```

#### 【 <fs\_init.c> ct\_mount\_disk() 】

365行目

《 削除 》

```
if(fs_free_work(work_buf) != CT_OK)  
    return fs_er(CT_RELMEMORY, NULL);
```

以上